

# みんなで決めよう!

# 駅前再開発で 住民投票

## 市長へ条例制定を直接請求 署名運動スタート

明石駅前に超高層マンションや市役所施設を入れる巨大なビルを、巨額の税金を投入して建設する再開発計画を止めさせるため、市民全員の意思を反映できる「住民投票」の実施を市長に直接請求する運動がスタートしました。署名活動期間は8月25日から1カ月間。まず、署名を集める「受任者」登録にご協力ください。

### 計画中止 まだ遅くはない

●明石駅前の再開発は、まだ決まっていません。市がこの10月に設立すると言っている権利者による再開発組合が事業計画を決め、国に申請し認可されて、初めて事業が決まります。まだ、計画を取りやめるのに遅くはありません。

●この計画は、明石のまちの賑わいを取り戻すことにつながらず、明石らしいまちづくりをぶち壊す、壮大な税金のムダ使いです。

(裏面をご覧ください)

●明石市は一昨年「将来に重要な影響を及ぼす事項は、住民投票を実施する」と自治基本条例で定めています。常設の住民投票条例がまだできていないため、再開発に関する住民投票を行う条例の制定を市長に直接請求します。

●明石駅前の銀座通り商店街(魚の棚入口南)に常設事務所を開設しました。お立ち寄りください。



“みんなで決めよう”

### 明石の駅前再開発

### 登場! 明石原人

明石の駅前景観を台無しにするタワーマンション、鉄とコンクリートの巨大な塊をつくる計画に対し、幻の明石原人がついに登場。  
明石の『美しく青い海』を、キラキラきらめかせながら、『駅前計画は、住民みんなで決めよう!』と、市民に呼びかけています。

作・中崎宣弘(明石出身の空間構想デザイナー)

### 署名集めの協力者 「受任者」大募集!



◆現在の再開発計画を「市民の総意」で止めさせるために地方自治法に基づく住民投票条例の直接請求を行います。

◆有権者の50分の1以上の署名を添えて市長に請求すると、議会で審議、可決後、住民投票が実施されます。

◆これを確実にするためには議会を動かせるたくさんの署名数が必要です。5万人を目標にした署名を集めるには、たくさんの協力者・受任者が必要です。

◆ご家族や親類、知人だけの署名集めでも結構です。受任者に登録して署名集めにご協力ください。住所、氏名、生年月日を下記にお知らせください。

街頭署名や戸別訪問にもご協力ください。

市民みんなで決める住民投票を実現する会 (略称: 駅前再開発・住民投票の会)

明石駅前事務所▶明石市本町1-6-3(明石銀座通) TEL/FAX 078-911-5015 E-mail: jumintohyo2012@gmail.com

〈会費、カンパ振込先〉 郵便振替口座: 00940-8-255443 口座名: 明石駅前再開発・住民投票の会

# 明石駅前再開発 ここが問題!!!

## 「民間再開発」に220億円もの税金つぎ込む

土地と建物を所有する民間の権利者が自主的に進める「民間再開発事業」といいながら、事業費の85%、220億円は税金。国、県、市の補助金に加えて、買い取り手のない保留床を市が買い取って成り立つ事業。計画づくりも、資金も、人も（準備組合の理事長には計画を進めてきた市の前部長が就任）市が丸抱えの“公共事業”です。

昨年秋の見直しで30億円減らしたと言うが、図書館を組み入れることによって国の補助金に付け替えただけで、市民の税金には違いない。そのうえ市の負担は、まだ明らかにされていない内装や設備、備品等の初期費用に加え、高額な共益費・管理費が毎年のしかかってきます。

■明石駅前南地区 再開発事業の資金計画(2012.6.22 建設企業常任委の説明資料から。単位は億円)

事業費用	金額	比率(%)	財源収入	金額	比率(%)	内訳(億円)			
						国	県	市	住宅
工事費	185	70	一般会計補助金	127	48	64	28	35	
補償費	55	21	公共施設管理者負担金	22	8	12		10	
調査設計費等	13	5	保留床処分金	110	41	20		50	40
事務費・金利	13	5	2号、駅前広場歩行者デッキ	7	3	4		3	
合計	266	100	合計	266	100	100	28	98	40

※保留床処分金の国からの20億は図書館建設補助金

### 中心市街地の活性化、賑わい回復に寄与しない!

計画はダイエー明石店の閉鎖に代わる商業施設の再開をめざして構想されたものだが、新たな商業施設の誘致を見込めない経済情勢から、核となる商業施設の誘致は初めからあきらめて、大規模なビル建設に伴う膨大な“空きスペース”(保留床)に市役所を入れることによって再開発事業を成立させようとするものです。

したがって、当初から集客力のある商業ゾーンは計画されていません。行政施設や図書館、保育所などの公共施設が、商業ゾーンに代わるまちの賑わいにつながるものでないことは自明です。中心市街地活性化計画の柱になっていたもう一つの拠点である「明石港周辺整備」も、フェリーの廃止決定や砂利揚げ場の移転棚上げで暗礁に乗り上げています。

### 景観をぶち壊す34階建ての超高層マンション

再開発ビルの東端には、34階建てのタワーマンションが計画されています。市はこの超高層ビルが明石駅前のシンボルタワーになるとしていますが、大手不動産業者が開発分譲する約200戸の住宅がなぜ明石のシンボルになるのでしょうか？ 市民が全く立ち入りできない超高層分譲マンションは駅前の視界を遮り、緑と海峡を望むスカイラインを断ち切り、駅景観を台無しにするだけです。

### 経営破たん状態のアスピア、10年で30億の赤字累積

オープン10年になる「アスピア明石」は、380億円の巨費(88%は税金)を投じた明石の再開発第一号ですが、経営不振が続き累積赤字30億余りと破たん状態にあります。管理運営には市が出資金や貸付金、赤字補てんの補助金など税金100億円余りを投じてきましたが、先行きが見えません。駅前再開発も、この二の舞になるのは必至です。

8月18日(土) 13:30~16:30  
らぼす5階の市民ホール

署名開始へ市民集会

◎ご参加を予定ください